

## 今年度最後の行事

小学校家庭教育学級・MCR 学級合同閉級式及び家庭教育講演会が開催されました。

### 1 日時・会場

開催日 令和5年2月17日（金）10:00～12:00

会場 松戸市民劇場 ホール

### 2 参加者 55名

### 3 内容

#### ○家庭教育講演会

演題 「家庭で考えよう

～スマホトラブル うちの子だけは大丈夫？～」

講師 NPO 法人 企業教育研究会 事務局 市野 敬介 氏

#### ○小学校家庭教育学級・MCR 学級合同閉級式

主催者挨拶 松戸市教育委員会 教育長 伊藤 純一 氏

### 4 概要

合同閉級式次第が一部変更され、家庭教育講演会を先に行いました。

講演では、自己紹介を兼ねてご自身の写真を見せ、ソーシャルネットワークの怖さを紹介しつつ講演が始まりました。

昨今、子ども達の遊ぶ場所が、屋外からオンライン上になっているため、オンラインゲームでのトラブルが増えているとのこと。保護者から寄せられアンケート結果を見せ、ネットトラブルについて一つひとつお話いただきました。

また、スマホ、タブレットの長時間使用による健康への不安を心配する声も聞かれるが、近年注意すべきは「内斜視」。スマホの使い過ぎで10代から20代に多く、物の遠近感や立体感がつかみにくくなる目の病気で、視力低下や姿勢だけでなく、注意が必要との話に驚きの声を上げている学級生もいました。

各学校で行っている出前授業で活用しているドラマ教材を視聴し、トラブルの対処法やスマホへの設定方法等の説明を受けました。また、後半は、親向けの動画では、親として何をすべきか、何を準備しておくべきが問われる内容でした。親のしくじりや失敗を伝え、子どもと共有できるようにしておくことが大事なことやルール作りは親の責任であることを親自身が認識する必要があることも力強くお話されていました。

閉級式では、教育長から講演内容について触れられ、私たちの身の回りの生活はPCやデジタル機器があふれ、インターネットを介したデジタル通信によって暮らしが成り立ち、便利な世界となっているが、子ども達は大人が思っている以上に進んでいることを十分認識する必要があるとのことのお話がありました。そのような時代の中生きていく我が子を親だけで育てていくことは大変難しいことから、教育長が今まで何度も口にしている「教育はみんなで」を学級生に投げかけていました。

最後に家庭教育および家庭教育学級の役割や重要性についてお話しいただき、1年間の家庭教育学級の取り組みに対する感謝の言葉で締めくくっていただきました。

参加した学級生の多くは小学4年生から6年生の子（全体の70%）を持つ親であり、今回のテーマに興味があったことわかります。以下に、講演会の感想を載せています。

### 5 学級生の感想（一部）



○いずれ子どもにスマホを持たせることになると思うので、スマホトラブルというテーマは気になっていました。

○スマホ所持の低年齢化が進んでいるようですが、周囲に流されることなく、各家庭の判断と責任に委ねられるものだと思いました。

○自分の子どもがまさに最近スマホを持ち始めたので、タイムリーな話題をお聞き出来て良かったです。

○子どもが携帯を使って起こりそうなトラブルがわかりやすく映像で出ていたので、子どもに見せて考えさせたいと思いました。

○色々な情報が飛び交い受け取れる世の中、親も近所の人も色々な方々が関わって子育てに取り組んでいかなければと、強く思いました。ありがとうございました。

○母親の一人として子どもへの難しさを日々感じる中で、「みんなで子どもの教育を」との言葉に励まされました。

